

メーデー特集号



今年も日比谷野外音楽堂にて第85回日比谷メーデーが開催された。

式典が始まると、会場内では労働組合の仲間が結集し、労働者が働く者の団結で生活と権利、平和と民主主義を守る闘いに決起しました。

東日本大震災発生から3年が経過し、この地震と津波により多くの死者・行方不明者を出しました。また、東京電力福島第一原発では、浄化装置のトラブルや高濃度の汚染水漏れ事故が相次ぐ中、廃炉作業や除染作業に従事する労働者の被ばく隠しや賃金のピンハネが横行しています。被災者の困難な生活、労働者の被ばく労働が今

でも続いています。

私たちは東日本大震災の復興に連帯するとともに、すべての原発を廃炉にすべく、原発依存のエネルギー政策の転換を求めていかなければなりません。

国内の情勢をみれば、「アベノミクス」で一部大企業の利益誘導を図りましたが、中小企業の改善にはつながらず、消費税の増税も加わり賃金格差は拡大しています。私たちはストライキで大幅賃上げ、非正規労働者の均等待遇、最低賃金アップを要求すると共に、労働者派遣と労働法制の大改悪に反対して雇用破壊を許さず労働者保護のために闘っていかねばなりません。

歴史と伝統のある「働く者の祭典」メーデーを「闘いの広場」と位置づけ労働者の幅広い結集とより一層の団結とともに闘い続けなければなりません。

今回、支部の仲間を代表してメーデーに参加させていただきました。

朝、家を出たときは雨、傘をさして駅まで向かいましたが、日比谷に着いた時には雨も上がり、式典中は暑さも増して日焼けしそうな程の炎天下に！

参加した東京清掃の仲間は、全員作業を着用し非常に目立つ印象を受けました。私たちの生活・労働条件はなかなか良くなりず、毎年厳しい状況が続いています。この集会に結集した仲間、働く者の団結で生活と権利、平和と民主主義を守る闘いに決起することの重要性を改めて実感しました。私は今回のメンバーが2回目の参加になります。休務にあつた為、支部を代表



して参加させていた
きました。が、職場の
いと位置付けると共
に、日々頑張つて行
うと思います。

参加されたみなさん
お疲れ様でした。

【竹内善之】